

【ERATO 浅野プロジェクト講演会・生物工学研究センターセミナー】

富山県立大学では、本学教員の研究成果や外部講師による講演などを「地域連携公開セミナー」として、地域の方々に公開しています。

今回は、生物工学研究センターセミナーとして、聖マリアンナ医科大学大学院 疾患プロテオーム・分子病態治療学 岡本 一起 准教授をお招きしてご講演いただきます。

多数のご参加をお待ちしております。

- ◆ 日 時 平成27年1月23日(金) 14:40~16:10
- ◆ 場 所 富山県立大学生物工学研究センター1階 共同会議室(K115)
- ◆ 演 題 ステロイド薬と同程度強く、副作用が少ない、使い易い抗炎症剤(バイオ医薬品)の開発とその共結晶構造を基にした NF- κ B 阻害薬(低分子化合物)の開発

◆講演概要

ステロイド抗炎症薬は、他の抗炎症剤に比べて、全ての炎症を迅速かつ確実に抑制する最強の抗炎症剤です。それゆえ、あらゆる臨床各科で使われ、日本国内での年商は600億円を超えています。しかし、ステロイド薬には重篤な副作用と副腎機能減退作用があり、重症例に対してのみ短期間限定的に使用しているのが現状です。発表者は、ステロイド薬の研究中に、核内酸性タンパク質MTI-IIが炎症性転写因子 NF- κ B のコリプレッサーとして働き、強力な抗炎症作用を持つことを発見しました。MTI-IIを利用すれば、ステロイド薬並みの効果があり、重篤な副作用が少ない使い易い抗炎症剤の開発が可能です。本講演では、ステロイド薬とMTI-IIの抗炎症作用機序を概説し、開発中のMTI抗炎症剤の成果を紹介いたします。また、MTI抗炎症剤と NF- κ B の結合ポイントを解析することから得られる新しい NF- κ B 阻害薬(低分子化合物)の可能性について、先生方のご意見をお伺いしたいと思っております。

◆講師：岡本 一起 准教授（聖マリアンナ医科大学 大学院 疾患プロテオーム・分子病態治療学）

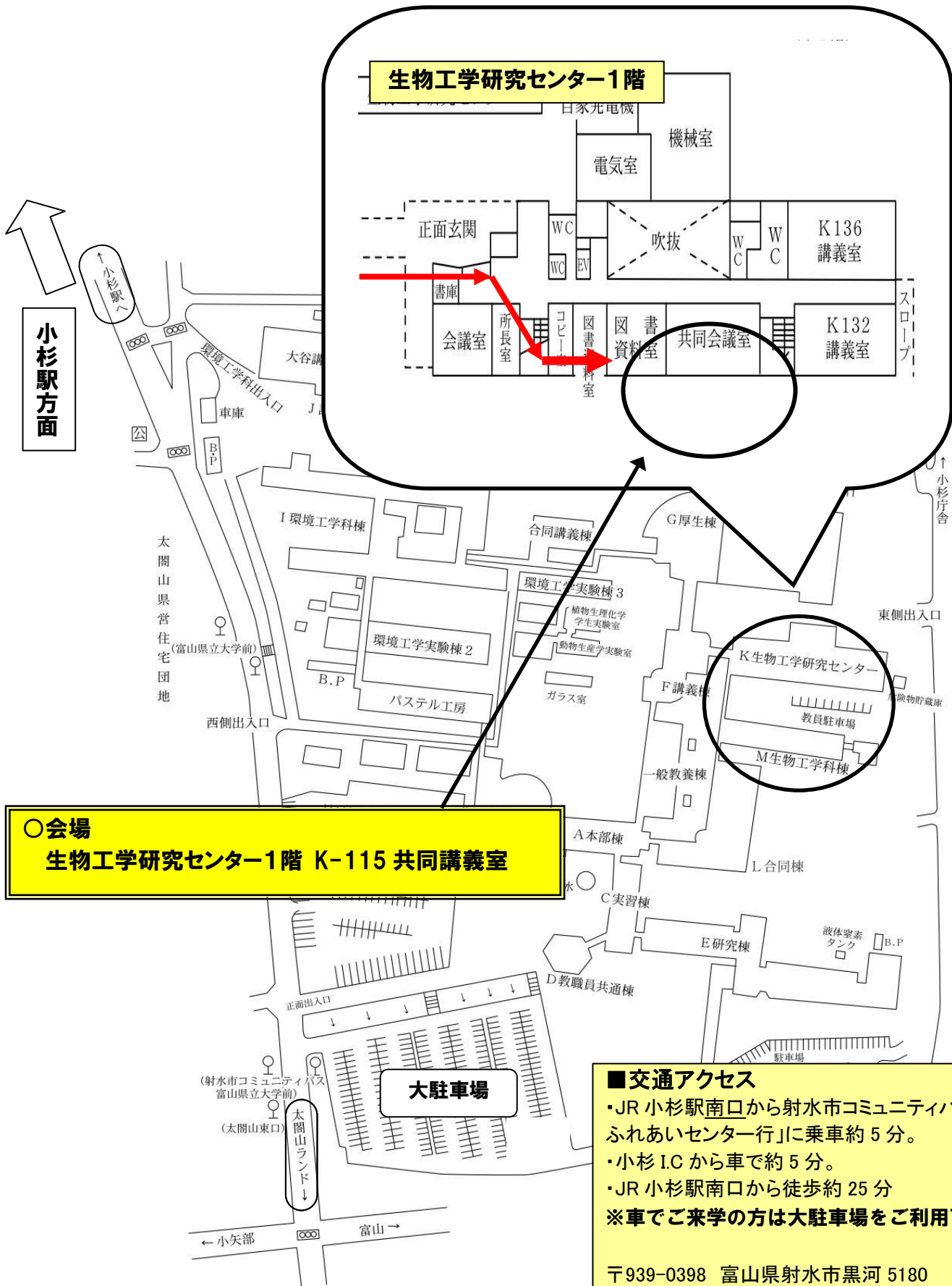
◆参加料 無 料（事前のお申込みは不要です。）

【お問合せ先】

富山県立大学工学部生物工学科 教授 浅野 泰久
富山県立大学 ERATO 浅野酵素活性分子プロジェクト事務室 研究推進主任 松田 元規
〒939-0398 富山県射水市黒河 5180
TEL:0766-88-2280 FAX:0766-88-2422
E-mail:m-matsuda@pu-toyama.ac.jp

**【主催】富山県立大学
（地域連携センター、ERATO 浅野酵素活性分子プロジェクト事務室、生物工学研究センター）**

○「会場のご案内」



○会場
生物工学研究センター1階 K-115 共同講義室

■交通アクセス

- ・JR 小杉駅南口から射水市コミュニティバス「小杉ふれあいセンター行」に乗車約5分。
- ・小杉 I.C から車で約5分。
- ・JR 小杉駅南口から徒歩約25分

※車でご来学の方は大駐車場をご利用下さい。

〒939-0398 富山県射水市黒河 5180
富山県立大学 TEL(0766)56-7500(代)